[redacted]

陸奥守
殿ニ二階堂兵衛何かしかてはさそくと
陸奥守とそれ故兄弟御座とい
し候今日もありてゝつ御座乃
色々と申すやく存候 義朝 父
乃九ゝかそしく殺し勢かくは菊若
児乃事いさく雑ニ。義代官仕て
故御座とゝてし候小業内申候。

候ゝ代本の九ゝゝありて候 よき代本の九
郎義乃は仕かくは 二 御方へと
申しへ 守 いろ小業内申は。たを参り
参りて候 參へ申は。此義去ゝ
乃通りと申さうならかくは 二 義
候 守 殺し源氏清射死しれ故嫡子源
左衛門よ世とゆつりし上八。嫡々相

蔵王の御ゑかくは大。それがし代官仕つ
ゐ方の御使にとめん事何の不足の
狀なれ　絵のあらましに肩月に
てんた。来る代官仕。ゐ方の隊大
事に三度れの狀にとりの御へき
何と狀にありけりし。合や　さんぞ
敵ハそまうしに對してゆう　石や

對ともうさハ　敵對ともにてひたるさ
う海にそれりしう為とハつ家の下人
おてらたれう　そ申てそ候なるを
人乃網なる也。候侍とれむ時ハて家れ
主　敵ありまめ時と候おさう
中上ろす　甚かれなの両との年う
まひや御不遊と而ふてとゆうれ振

[illegible]

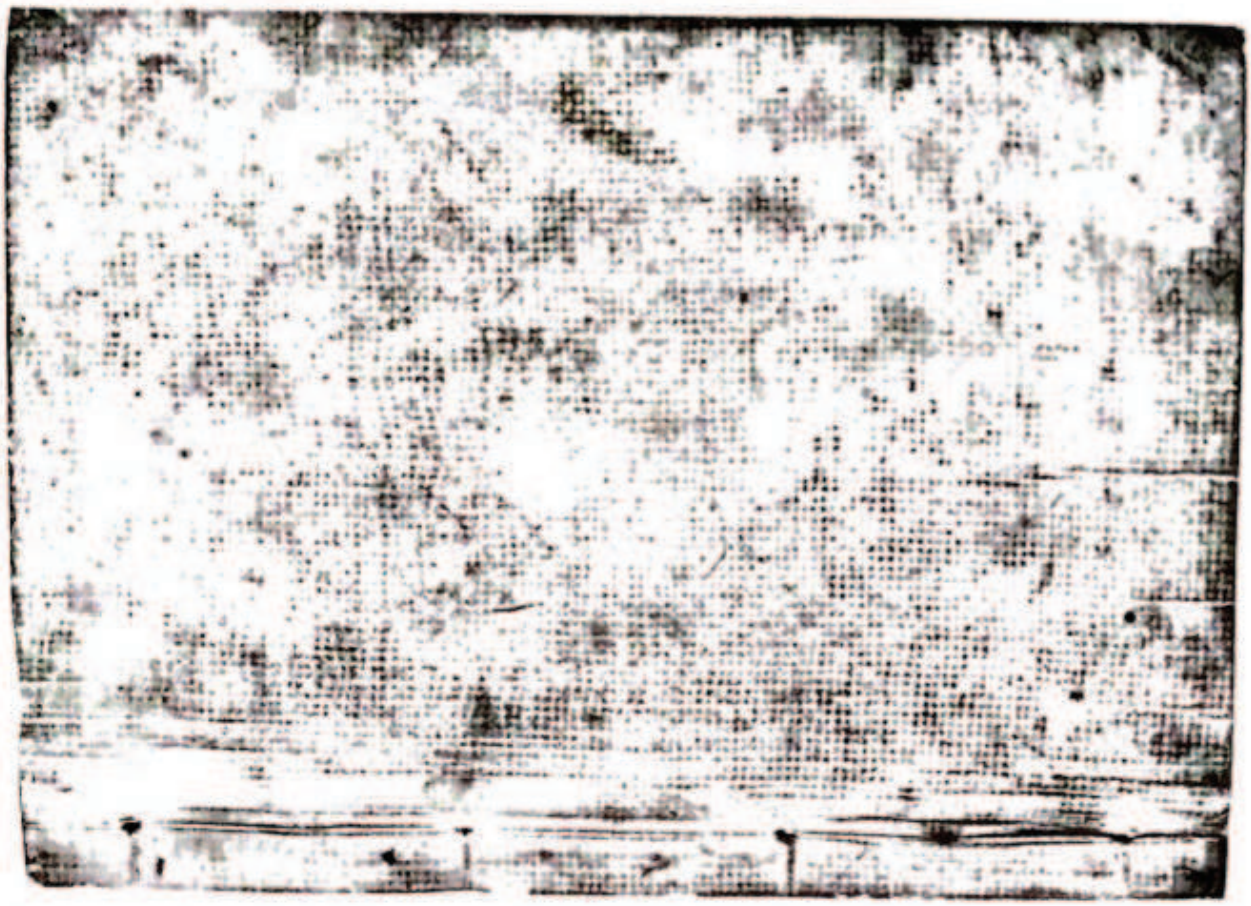
[illegible]

扨〳〵も皆うらみことともなりけり
爾るに菊池か二人行く子とも乃
地頭職。菊池の小瀬川へ　何く
迄も六郎殿は心得申しくは。元
其趣は幼き御りて程よしと
うとおそろし一家は知らずして人へ
そをまつ十方らぬ大庄と菊池の夜か

くさまれく　音　かはと起きて起き
さいえんりやくゆくも書なしとも
枕もとにはまなり頭へゆんく流さ
らけさとり出しいふきあさえん
とそしのめまう　平　ゆめとさつされ
いけかくのおもかげにいとへなり
音
狂はかゞ原よりしのほりてかんれた。

[illegible]
世[illegible]令[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

此百番者世上流布之板行三百番之外之百番也章句等悉千當流逐吟味令板行者也

御書易師
林和泉

元禄二年巳正月下旬